

乞掲示

Department of Mathematics, Kobe University, Colloquium Lecture

神戸大学大学院理学研究科  
数学教室談話会

日時： 2007年11月28日(水) 17:00~18:00

於： 神戸大学理学部B棟428-30号室 (B棟の4階奥です)。

講演者： 矢野 孝次 氏 (神戸大学大学院理学研究科)

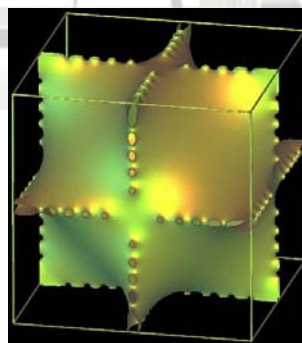
講演題目： 拡散過程のエクスカージョンと極限定理

一次元ブラウン運動は原点を出発しても原点に何度も帰って来る再帰性を持つ。その標本路を、原点を出発してから再び原点に戻ってくるまでの道の断片に分け、これらをエクスカージョンと呼ぶ。ブラウン運動のエクスカージョンの確率的振る舞いは、伊藤清の研究によって、道の空間に値をとるポアソン点過程として特徴付けられることが明らかにされた。

本講演では、拡散過程の極限定理の背後に、エクスカージョンの極限定理があることを解説する。また、笠原-渡辺によって近年得られた、極限が退化する場合の揺らぎ極限定理のからくりを、エクスカージョンの極限定理によって理解する試みを紹介する。

同日16:30より 数学教室 談話室(B棟4F)において講演者を囲んでお茶会を開きます。

皆さま、お気軽にご参加下さい。



問い合わせ先： 神戸大学大学院理学研究科数学教室

〒657-8501神戸市灘区六甲台町 1-1

電話 :078-803-5605(渡邊 清)

EMAIL : [watanabe@math.kobe-u.ac.jp](mailto:watanabe@math.kobe-u.ac.jp)

